

2024年度1Q実績

2024年8月2日

本資料における計数、表記の定義

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ（持株会社）
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DS	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
SMICC	SMFG India Credit Company (旧Fullerton India)
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、 SMBCバンクEU、三井住友銀行（中国）
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費（BC単体）	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門（RT）	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門（WS）	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門（GB）	海外ビジネス
市場事業部門（GM）	市場関連ビジネス

本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有する有価証券の時価の下落、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループの国内外におけるビジネス戦略が奏功しないリスク、提携・出資・買収および買収後の経営統合が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

為替レート（月末TTM）

	23/6末	24/3末	24/6末
1ドル	144.99円	151.33円	161.03円
1ユーロ	157.60円	163.24円	172.29円

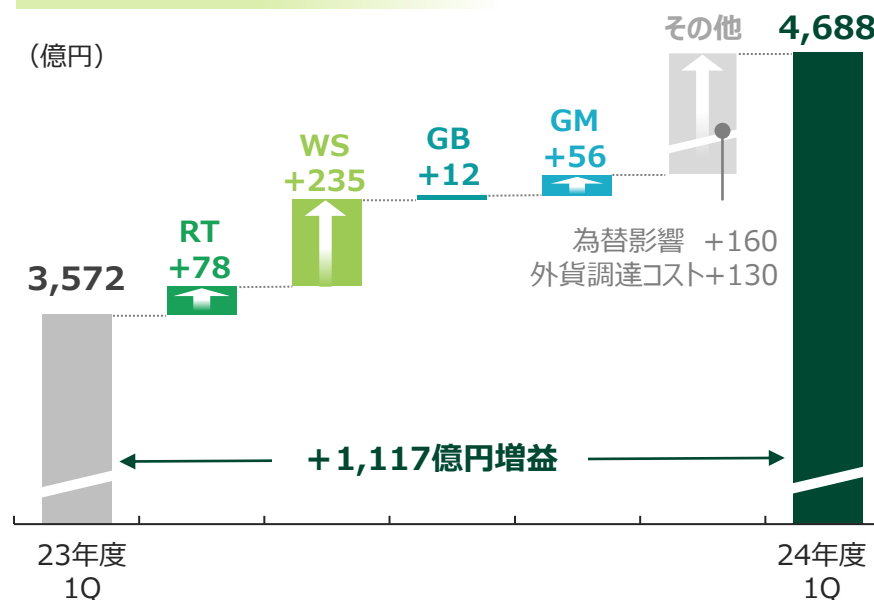
決算ハイライト

Plan for
Fulfilled Growth

- ◆ 連結業務純益・親会社株主純利益はともに+1,000億円超増益で、1Qの過去最高益を更新
- ◆ 良好な業務環境の中で中計施策も着実に進捗、特に国内ホールセール・リテールが増益を牽引
- ◆ トップライン成長により経費率は改善、与信関係費用も大きな劣化なく適切にコントロール

(億円)	24年度 1Q	前年 同期比	24年度 目標
連結粗利益	10,298	+1,545	
営業経費 (経費率)	▲5,924 57.5%	▲573 △3.6%	
持分法投資損益	314	+145	
連結業務純益	4,688	+1,117	16,200
与信関係費用	▲292	△147	▲2,600
株式等損益	823	+411	
経常利益	5,209	+1,718	15,600
親会社株主純利益	3,714	+1,233	10,600
東証基準ROE	10.1%	+2.4%	

連結業務純益の増減内訳

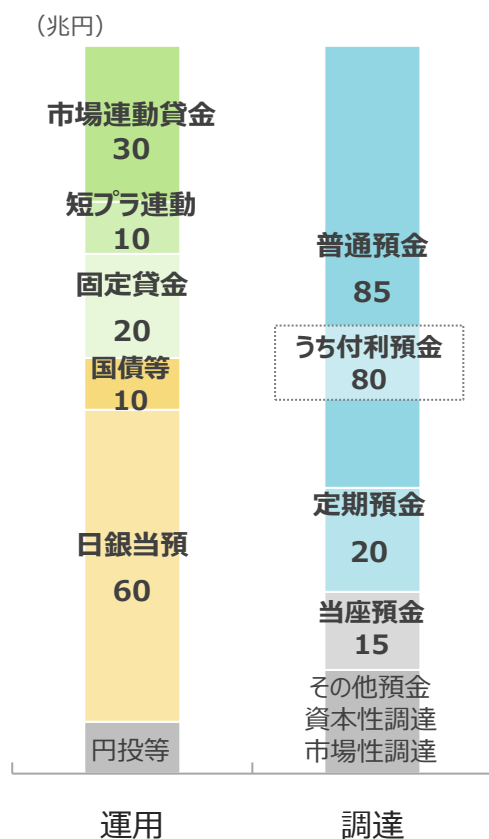


		24年度計画前提	24/6末
政策金利 (上限)	日本	0.1%	0.1%
	米国	5.0%	5.5%
為替	1ドル	140円	161.03円

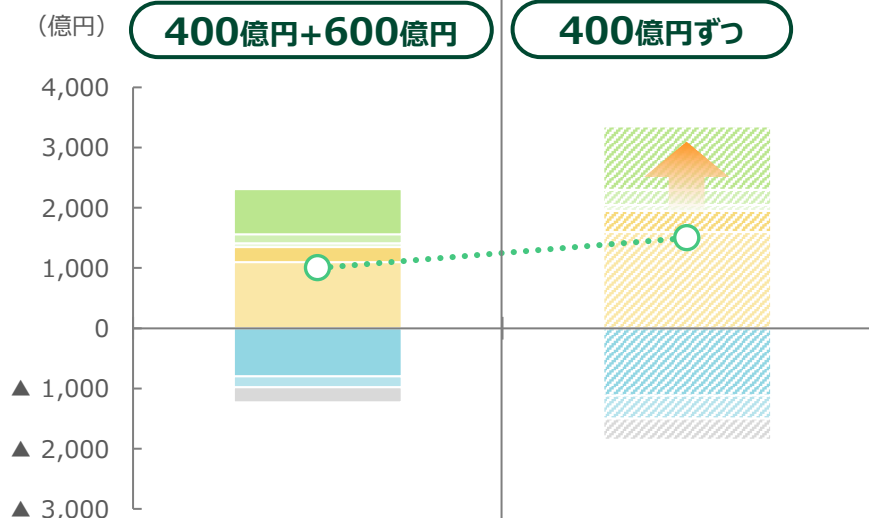
3月のマイナス金利解除と7月の利上げで資金利益約+1,000億円（うち24年度の寄与は7割程度）
資産・負債それぞれで、さらなる金利上昇時のアップサイド追求のための取組を継続

円貨B/S 145兆円（24/6末）

資金利益への影響（バランスシート不変の前提）



24/3 0-0.1% 24/7 0.25% +0.1%あたり



試算の前提

市場連動貸金	+25bps
短プラ連動	+15bps
固定貸金	+15bps
日銀当預付利	すべて25bps
国債	+25bps
普通預金	+10bps
定期預金	+9bps

長期・短期金利
ともに+10bpsずつ上昇

足元の状況／今後の取組

貸出

- 資金需要は堅調（残高：前年同期比+5%）
- ベースレートの上昇に加えスプレッドも前年比改善、引き続き引上げに注力

国債等

- 市場のトレンドを適切に捉え、機動的に残高をコントロール

預金

- 市場金利動向等を踏まえて引上げ
- 粘着性の高い低コストの流動性預金の獲得でアップサイドを追求

Olive : 預金量25%増*1

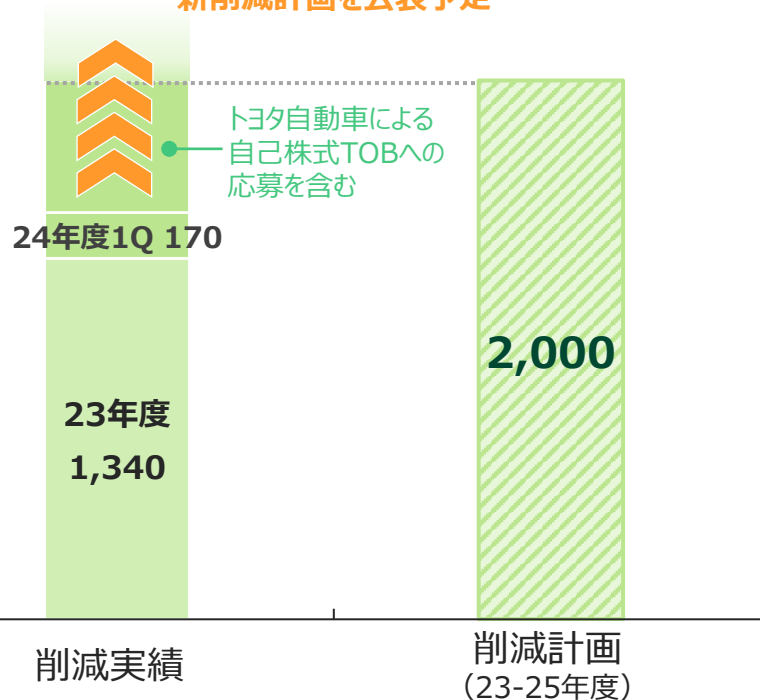
*1 23/3-24/2月の新規口座開設者の24/3月末預金残高の前年同期比

削減交渉は順調に進捗、24年度上期中に当初計画（中計3カ年で2,000億円削減）の前倒し達成を目指す
11月の上期決算発表時には、新たな削減計画を公表予定

削減計画の進捗

(億円)

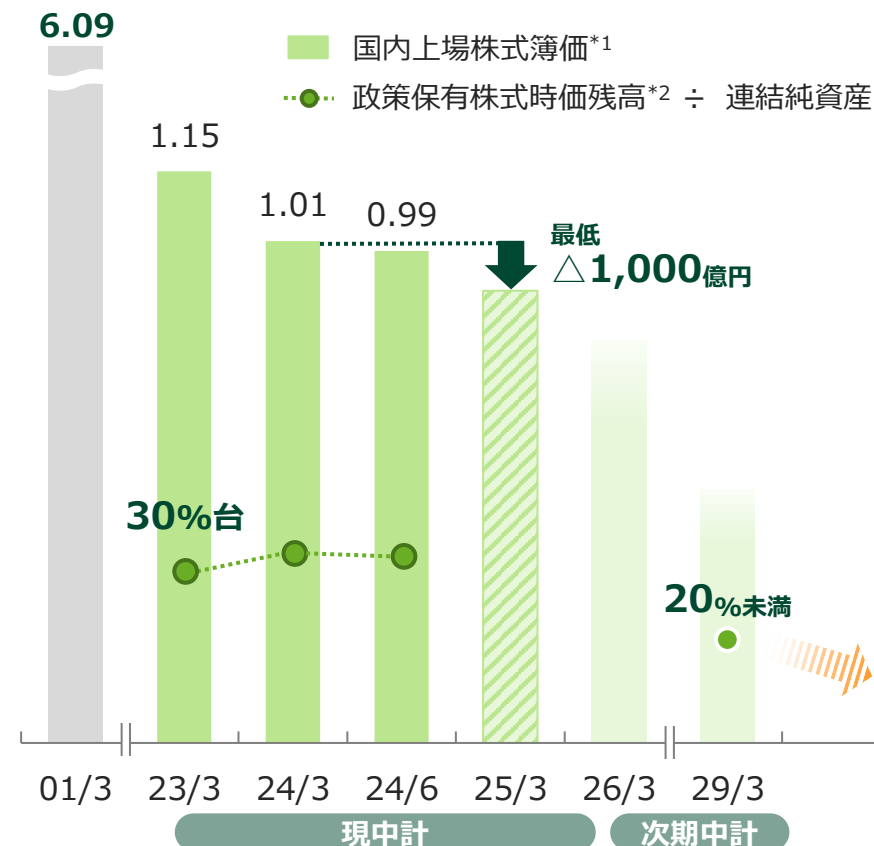
24年度上期中に当初計画達成を目指すとともに、
新削減計画を公表予定



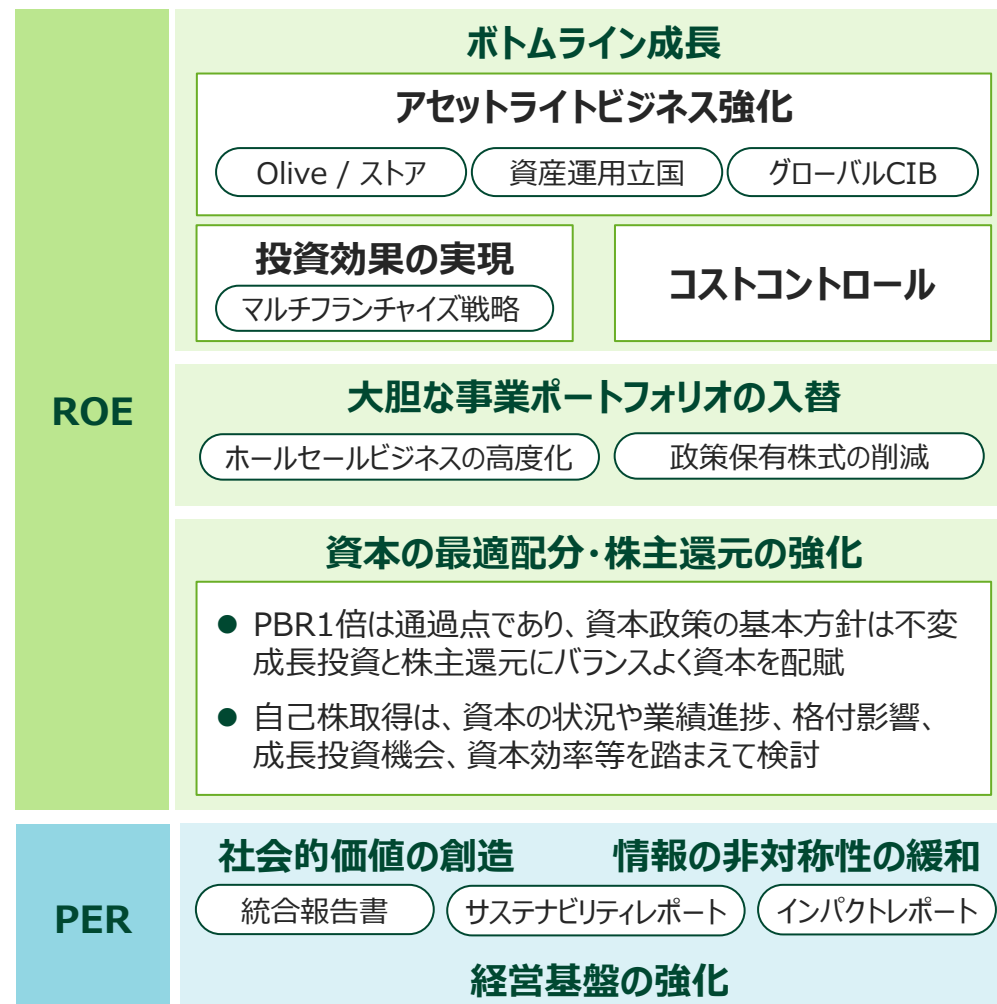
削減額（累計）	1,510億円
未売却の応諾残高	1,140億円

政策保有株式残高

(兆円)



PBRは1倍近くまで改善、引き続きROEとPERの両面からさらなる企業価値向上に取り組む



	(億円)	24年度 1Q	前年 同期比	24年度 目標
1 連結粗利益		10,298	+1,545	
2 営業経費 (経費率)		▲5,924 57.5%	▲573 △3.6%	
3 持分法投資損益	進捗率	314	+145	
4 連結業務純益	29%	4,688	+1,117	16,200
5 与信関係費用		▲292	△147	▲2,600
6 株式等損益		823	+411	
7 その他		▲11	+43	
8 経常利益		5,209	+1,718	15,600
9 特別損益		▲27	▲16	
10 税コスト		▲1,448	▲475	
11 親会社株主純利益	35%	3,714	+1,233	10,600
12 東証基準ROE		10.1%	+2.4%	
13 株主資本ROE		13.8%	+4.2%	

- **連結粗利益**（為替影響: +340）
国内外における貸出金収益の増加に加え、
資産運用・決済ファイナンスビジネスの好調、
国内ホールセールビジネスの手数料収入増加等より増益
- **営業経費**（為替影響: ▲200）
インフレ影響（▲110）や、SMCC・SMBCCF・SMBC日興等の
売上連動費増（▲100）により増加
経費率は、資産運用ビジネスや国内ホールセールビジネスを
主因とした連結粗利益の増加により、前年同期比大幅に改善
- **持分法投資損益**（為替影響: +20）
SMBCACの航空機リースビジネスの好調（+70）に加え、
VPBank・RCBCの持分法適用会社化（+20）等により増加
- **与信関係費用**
OTO/SOF連結化やリテール子会社の業容拡大による増加
はあるも、SMBCのコスト発生が低位にとどまったことから減少
- **株式等損益**
ETF売却益は減少（▲140）するも、
政策保有株式売却益（830、YoY+580）により増加

(参考) 主要グループ会社の業績

Plan for
Fulfilled Growth

SMBC

	(億円)	24年度 1Q	前年 同期比	24年度 目標
1 業務粗利益		5,195	+962	
2 うち資金利益		3,184	+783	
3 うち投資信託解約損益		218	+208	
4 国内		1,801	+477	
5 海外		1,383	+305	
6 うち役務取引等利益		1,275	+169	
7 国内		586	+105	
8 海外		688	+64	
9 うち特定取引利益 +その他業務利益		729	+11	
10 うち国債等債券損益		100	+112	
11 経費		▲2,673	▲248	
12 業務純益		2,522	+715	8,800
13 与信関係費用		△291	△250	▲450
14 株式等損益		821	+446	
15 その他臨時損益		88	+70	
16 当期純利益		2,615	+978	7,300

SMBC以外の主要グループ会社

(左：24年度1Q実績、右：前年同期比)

(億円)	SMCC		SMBC日興 ^{*2}		SMBCCF	
業務粗利益	1,362	+50	1,332	+207	656	+46
経費	▲1,104	▲11	▲1,086	▲124	▲280	▲17
業務純益	259	+37	246	+83	339	+62
当期純利益	71 ^{*1}	+2	201	+22	83	+55

(持分法適用)

	SMBC信託		三井住友DS		SMFL ^{*3}	
					50%	50%
業務粗利益	148	▲4	115	+19	854	+159
経費	▲101	▲4	▲84	▲7	▲329	▲17
業務純益	46	▲8	30	+12	560	+151
当期純利益	34	▲16	14	+7	330	+129

*1 SMBCFSとの合併に係る抱合せ株式消滅差益は消去(FG連結上は消去)

*2 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsの利益を含む内部管理ベース *3 内部管理ベース

資金利益は、国内外の貸金収益および投資信託解約益により堅調

役務取引等利益は、資産運用ビジネスやローン関連手数料を中心に好調で、SMBC・SMBC日興が牽引

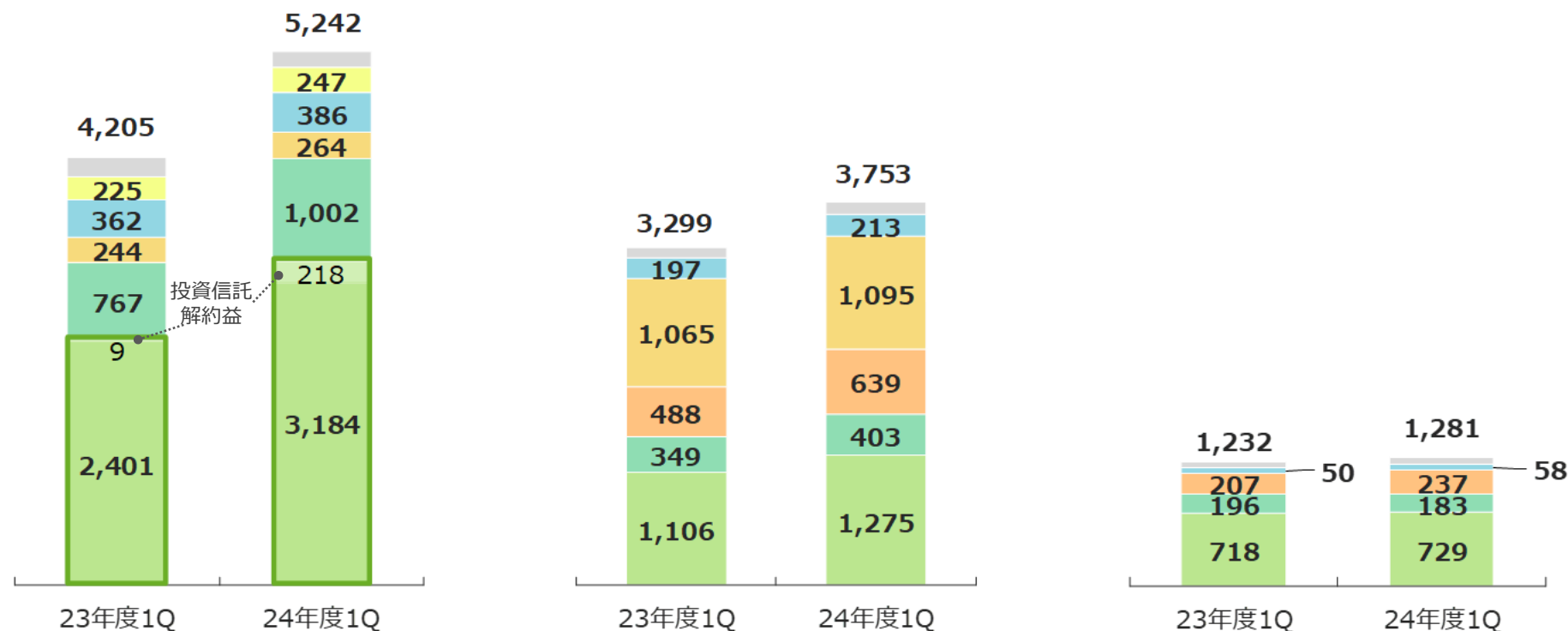
資金利益

役務取引等利益

特定取引+その他業務利益

■ SMBC ■ 海外銀行現法 ■ SMBC日興 ■ SMCC ■ SMBCCF ■ SMICC ■ その他

(億円)



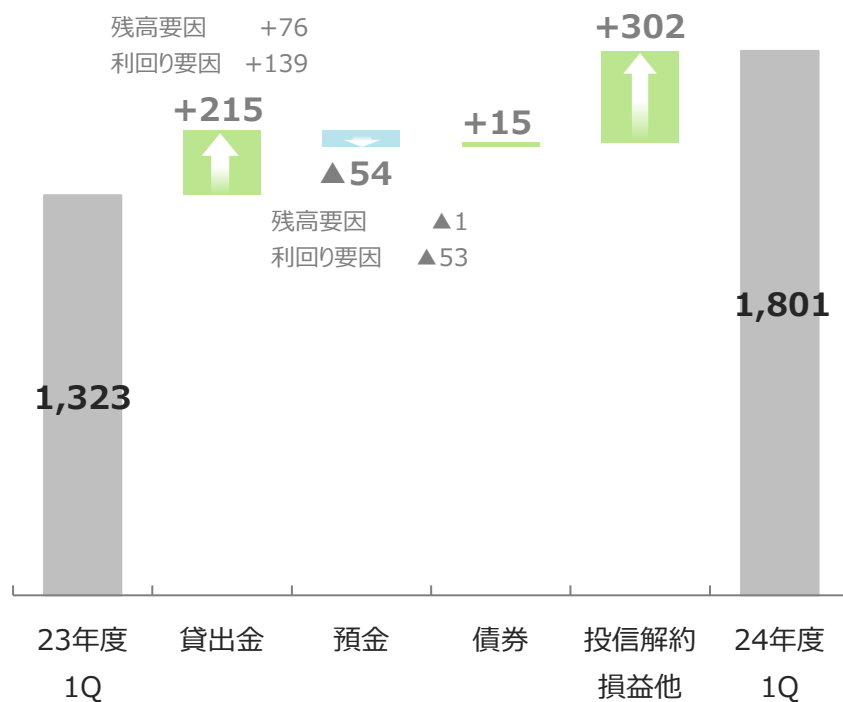
(参考) 資金利益の増減要因 (BC単体)

Plan for
Fulfilled Growth

国内

- 市場金利上昇を主因に預金コストの増加はあるも、貸出金の残高増加・利回り改善により、預貸金収益はプラス
- 好調な株価を背景に、投資信託解約益も増加

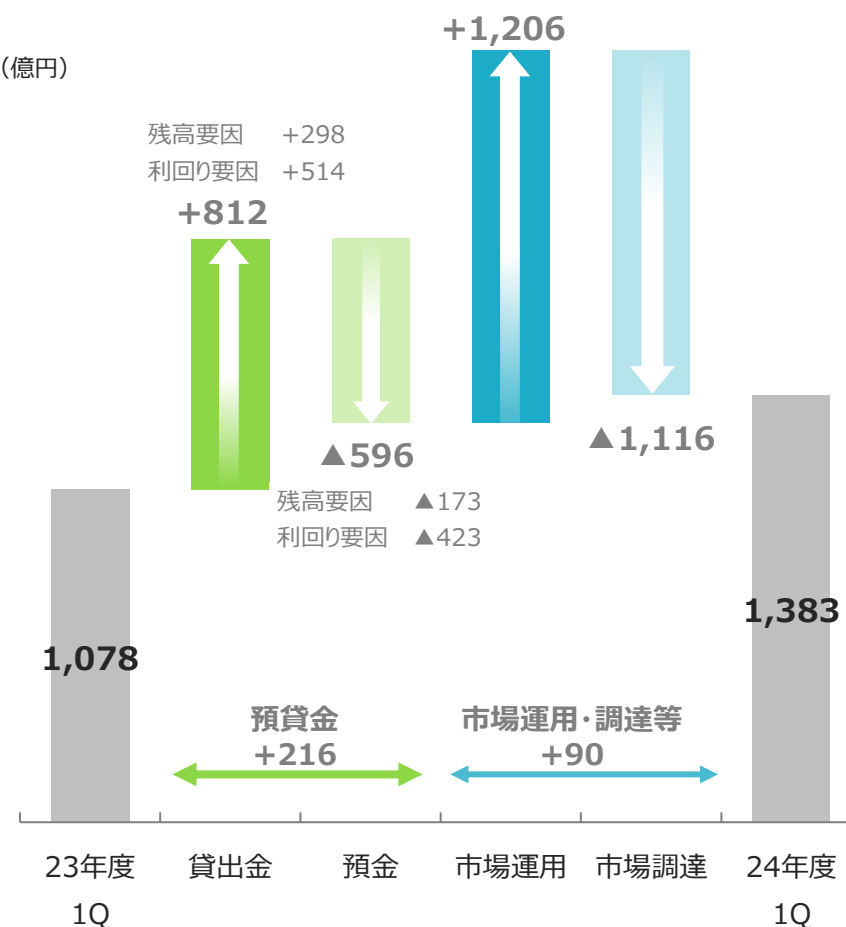
(億円)



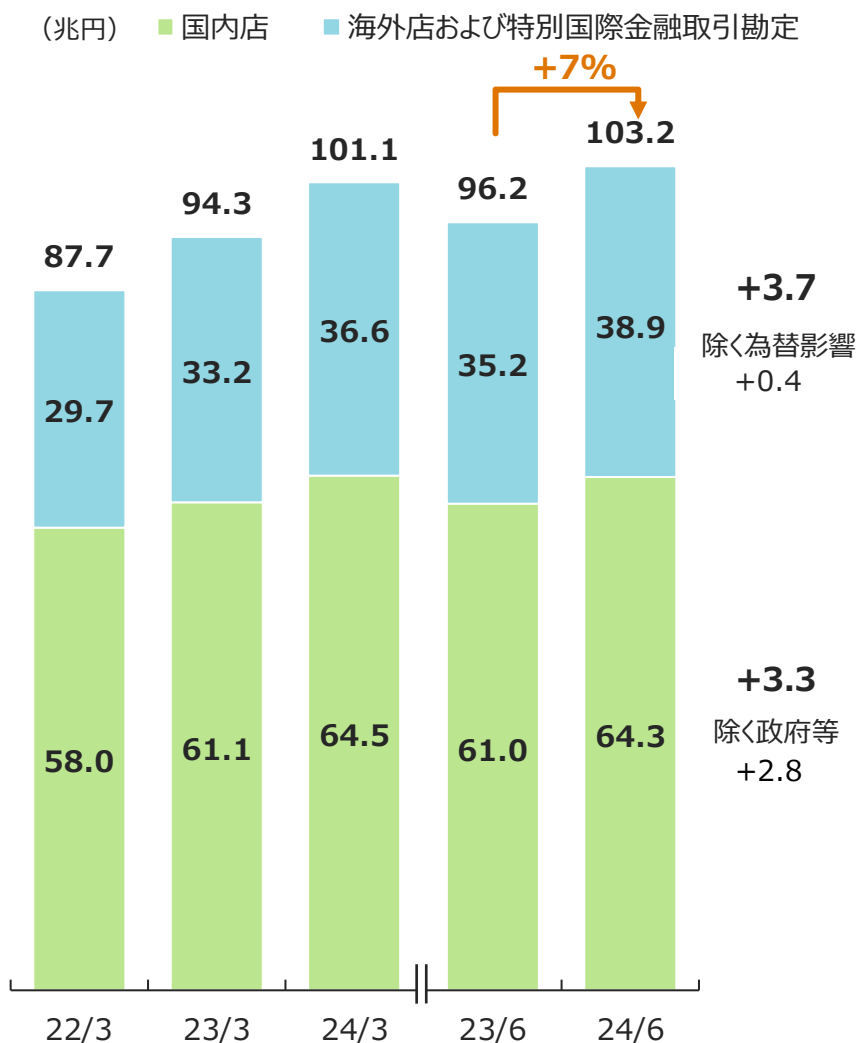
海外

- 預金コストも増加したものの、貸出金の利回り改善によって預貸金収益は増加

(億円)



貸出金残高



国内預貸金利回差

	24年度		23年度			
	1Q	前年同期比	1Q	2Q	3Q	4Q
貸出金利回 (%)	0.92	+0.10	0.82	0.83	0.85	0.86
預金等利回	0.01	▲0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.91	+0.09	0.82	0.83	0.85	0.86

(参考) 政府等向け貸出金控除後

貸出金利回	0.94	+0.10	0.84	0.84	0.86	0.88
預貸金利回差	0.93	+0.09	0.84	0.84	0.86	0.88

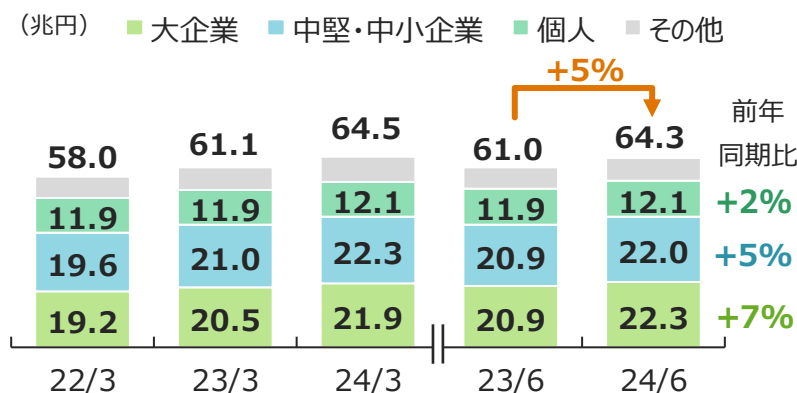
期中平均貸出金残高・スプレッド*2

	平均残高 (兆円)		スプレッド (%)	
	24年度 1Q	前年同期比*4	24年度 1Q	前年同期比
国内貸出	62.1	+2.8	0.70	+0.01
除く政府等・SMFG向け	59.0	+2.2	0.72	+0.02
うち大企業	22.2	+1.7	0.60	+0.04
中堅・中小企業	21.8	+0.9	0.65	+0.02
個人	12.1	+0.2	1.22	▲0.03
GB運用資産 (億ドル) *3	3,442	+16	1.25	+0.03

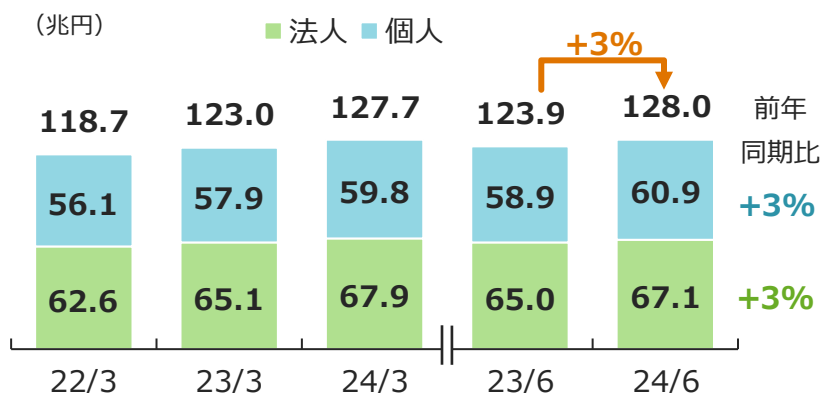
*1 BC単体 *2 内部管理ベース *3 SMBC、主要現地法人、SMBC信託等の合算。貸出金・貿易手形・有価証券の合計。
米ドルLibor公表停止により、基準金利対比のスプレッドから、資金コスト対比のスプレッドに定義変更 *4 為替影響等調整後ベース

コーポレートアクションをしっかりと捕捉し、大企業を中心に国内貸出金は前年同期比で増加
貸出金スプレッドは、23年度に取り組んだ大口M&A貸金の返済により足元低下するも、前年比では改善

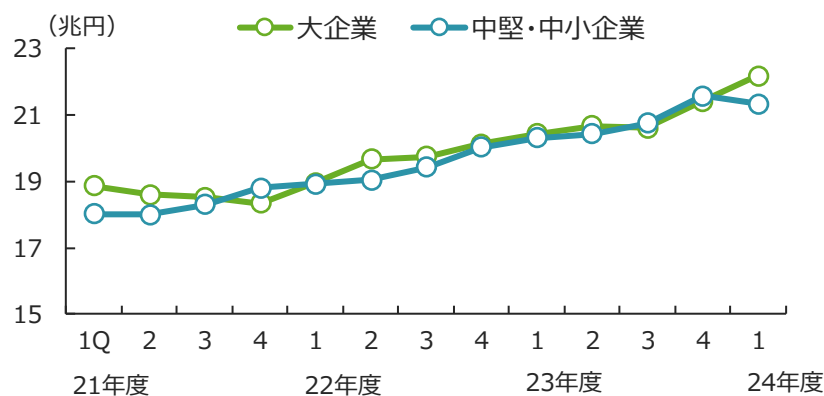
貸出金残高*2



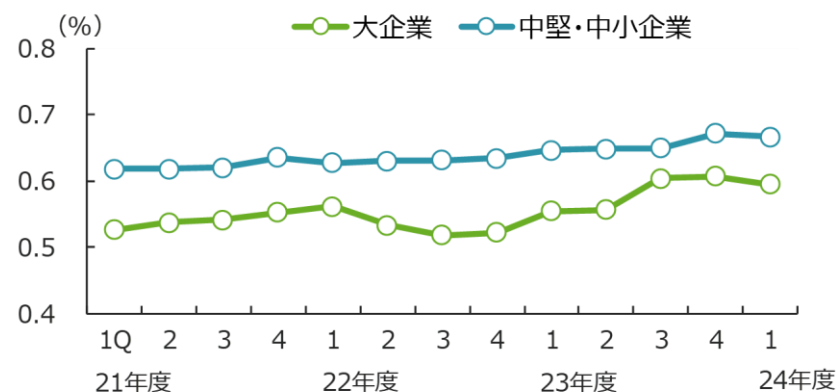
預金残高



法人向け平均貸出金残高*2,3



法人向け貸出金スプレッド*2,4

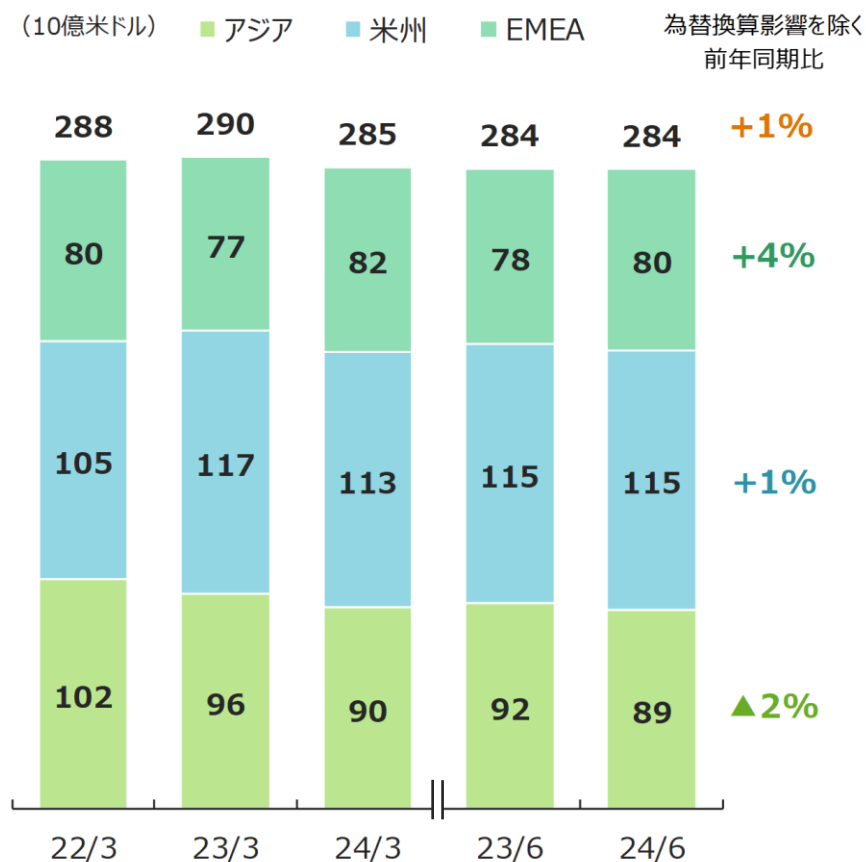


*1 BC単体 *2 内部管理ベース *3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く

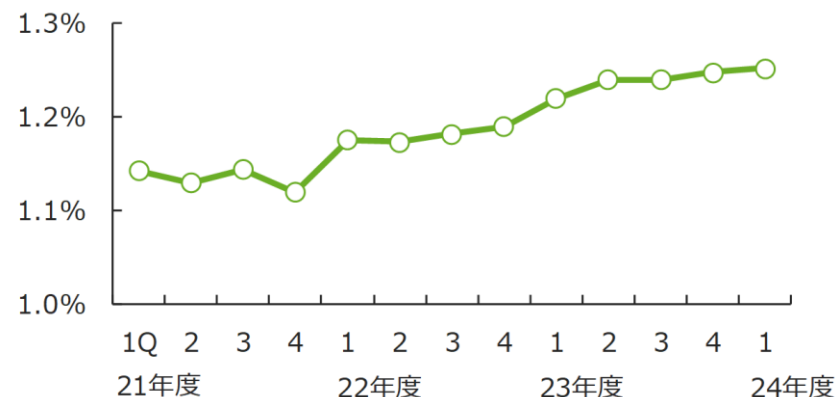
*4 ストックベース、政府向け等を除く

低採算アセットの削減を中心としたROE重視の運営徹底により、
貸出金残高はほぼ横ばいながら、貸出金スプレッドはゆるやかに改善

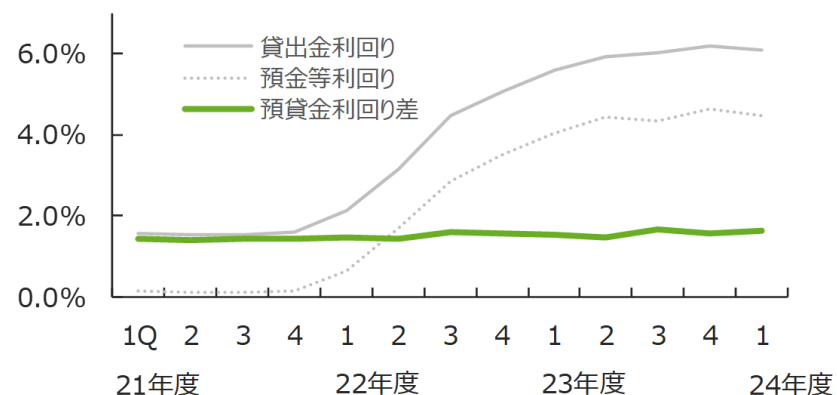
貸出金残高



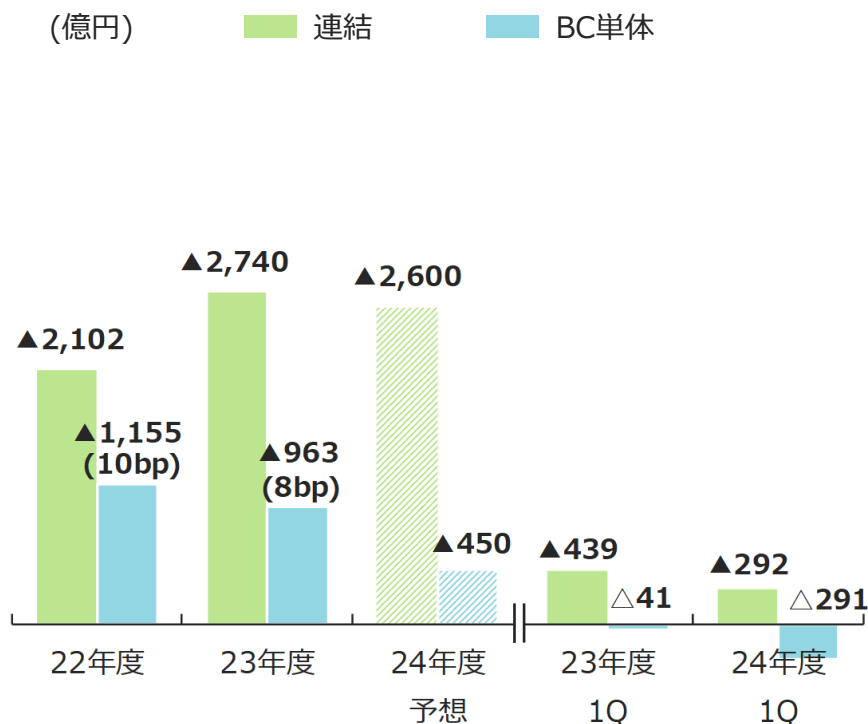
貸出金スプレッド*2



預貸金利回り差



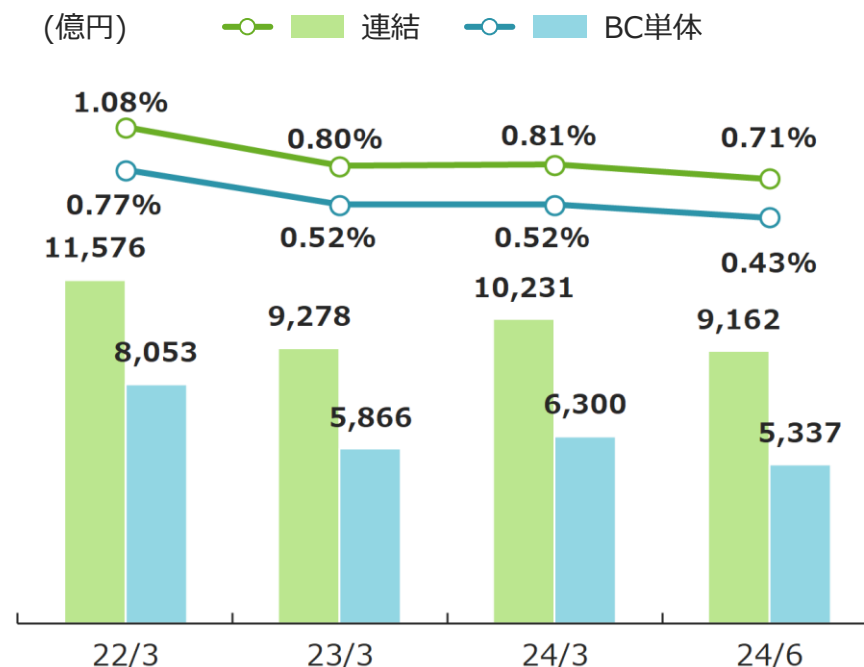
与信関係費用



連単差の主な内訳 (概数)

(億円)	24年度1Q	前年同期比
SMBCCF	▲ 230	△ 10
SMCC	▲ 150	▲ 30
海外銀行現法	▲ 110	▲ 50
SMICC	▲ 90	▲ 20

不良債権比率^{*1}・残高



総与信末残

	(兆円)		
連結	116	126	129
BC単体	113	120	123

その他要注意先 (除く要管理債権)

BC単体	1.8	1.8	1.8
------	-----	-----	-----

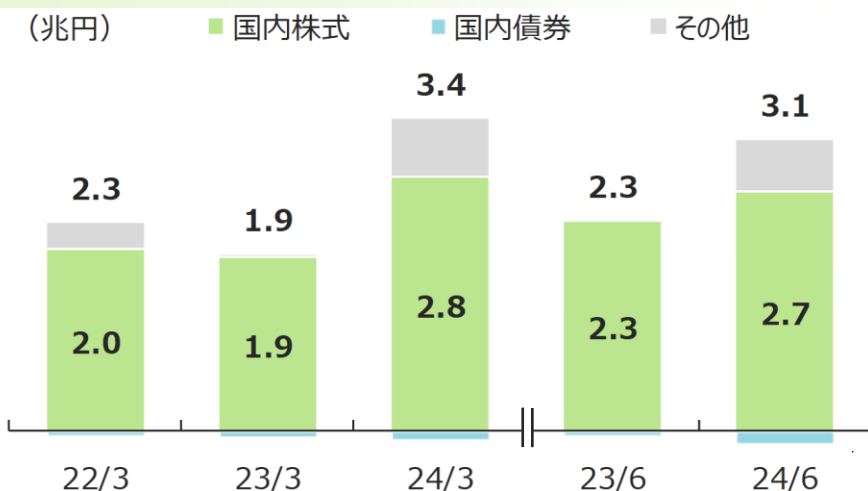
*1 不良債権比率 = 銀行法及び再生法に基づく債権残高 (除く正常債権) / 総与信

■ 其他有価証券の内訳（連結）

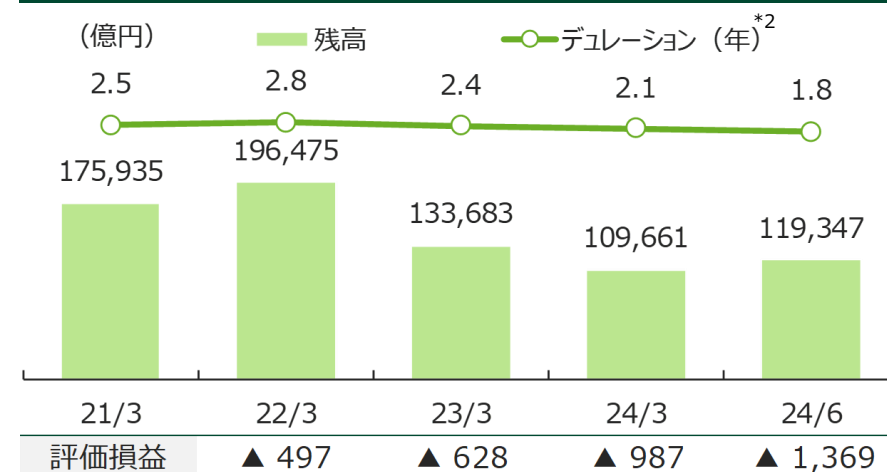
(億円)	残高		評価損益	
	24/6末	24/3末比	24/6末	24/3末比
満期保有目的	2,594	+253	▲29	▲15
其他有価証券	402,013	+40,685	31,178	▲2,753
国内株式	39,411	▲1,786	26,683	▲1,687
国内債券	117,301	+9,697	▲1,389	▲388
うち 国債	86,097	+10,623	▲708	▲159
その他	245,300	+32,774	5,884 ^{*1}	▲678
うち 外債	199,872	+31,510	▲7,957	▲1,051

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

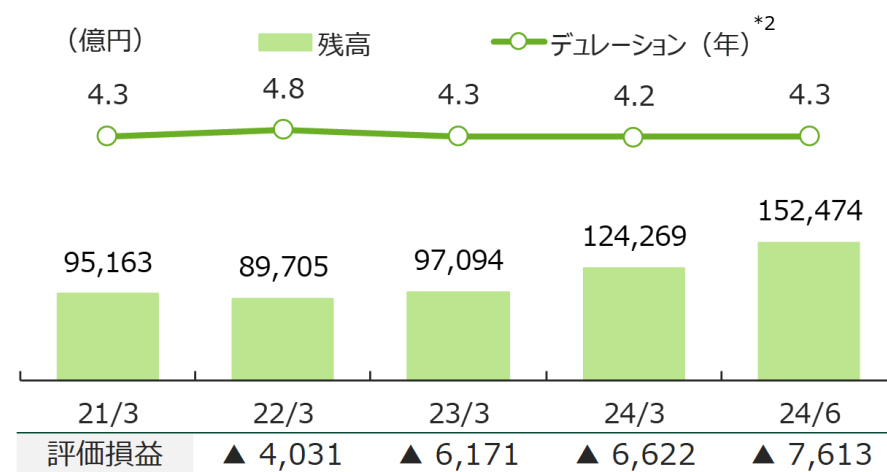
■ 評価損益の推移



■ 円債（BC単体）



■ 外債（BC単体）



*1 外国債券との差額は外国株式等

*2 内部管理ベース。ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債含まず

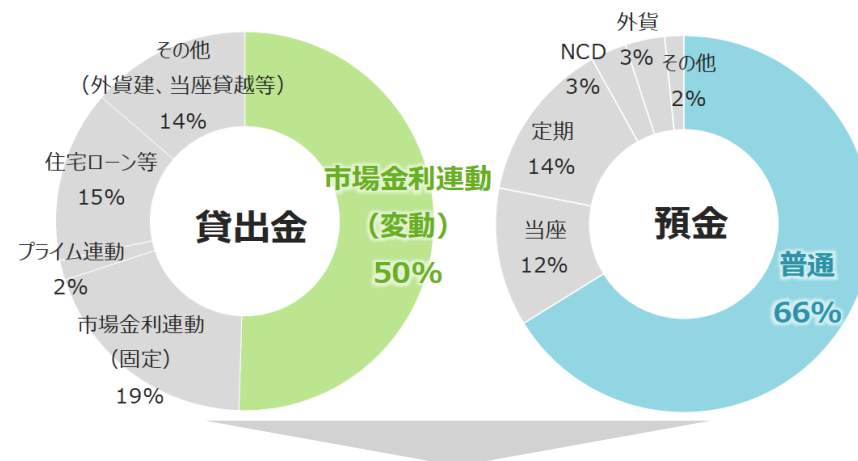
連結B/S

() 内は24/3末比

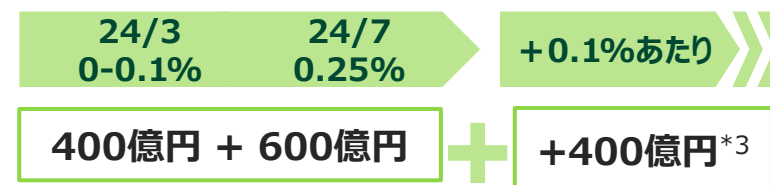
貸出金	預金
109.6兆円 (+2.5兆円)	180.5兆円 (+1.0兆円)
国内貸出金 ^{*1} 64.3兆円	預貸率 60.7%
有価証券	国内預金 ^{*1} 128.0兆円
41.3兆円 (+4.1兆円)	譲渡性預金 (NCD) 14.9兆円
国債 8.6兆円	その他
外国債券 20.0兆円	106.4兆円 (+5.5兆円)
その他	純資産
151.1兆円 (+0.1兆円)	15.1兆円 (+0.3兆円)
現預金 77.1兆円	
日銀当座預金 ^{*1} 58.8兆円	

総資産 302.0兆円 (+6.8兆円)

預貸金の構成比 (BC単体) ^{*2}



円金利の上昇による資金利益影響 (B/S不変前提)



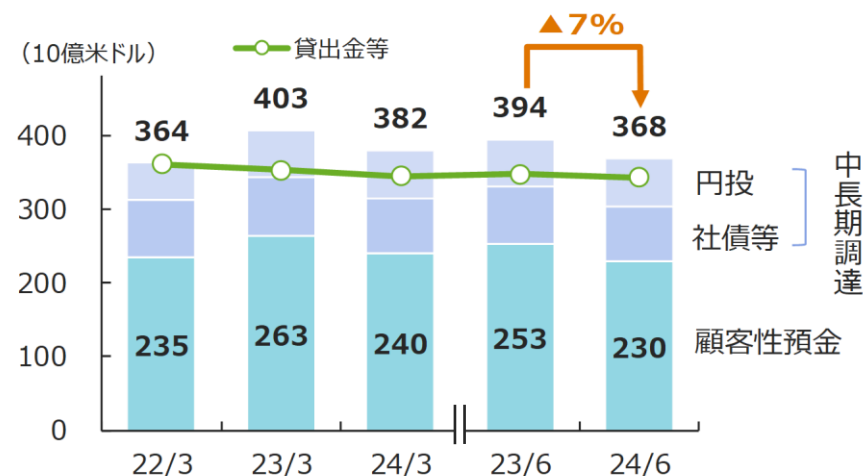
試算の前提

市場連動貸金	+25bps	長期・短期金利 ともに+10bpsずつ上昇
短プラ連動	+15bps	
固定貸金	+15bps	
日銀当預付利	すべて25bps	
国債	+25bps	
普通預金	+10bps	
定期預金	+9bps	

外貨B/S *1,2

(10億米ドル、() 内は24/3末比)	
貸出金	顧客性預金 (含む中銀預金)
343 (▲2)	230 (▲10)
その他	中長期調達 (社債、円投等)
123 (▲16)	139 (▲3)
外債、NCD	CD/CP
98 (+14)	80 (▲2)
	インターバンク (含むレポ)
	115 (+12)
資産・負債 564 (▲3)	

外貨ファンディング



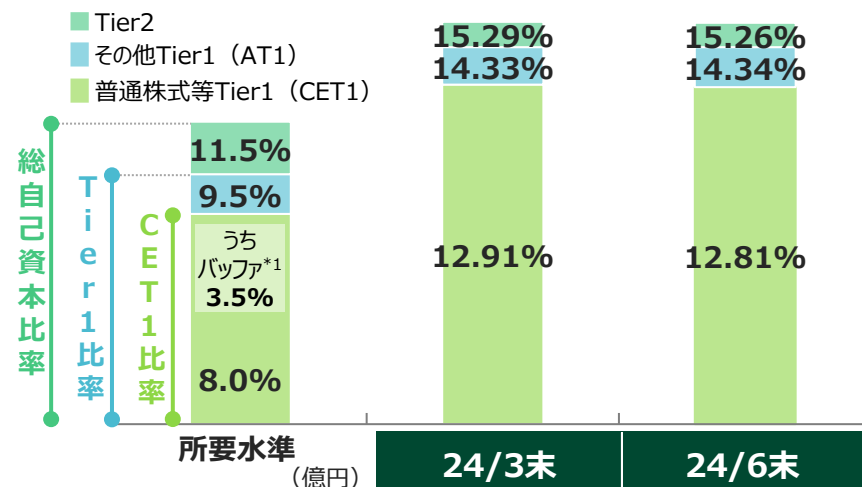
(参考) 外貨金利の変動影響

預貸金

- 貸出金・預金とも、大宗は基準金利連動
- 一部、金利感応度の低い流動性預金によって
外貨金利±1.0%で資金利益±200億円

自己資本比率

規制基準



所要水準 (億円)	24/3末	24/6末
総自己資本	141,979	147,601
Tier1資本	133,116	138,707
うちCET1資本	119,926	123,934
Tier2資本	8,863	8,893
リスクアセット	928,486	967,123

バーゼルⅢ最終化基準

CET1比率	10.9%	11.0%
除くOCI	9.9%	10.3%

その他の規制比率

	24/6末	所要水準 ^{*1}
外部TLAC比率		
リスクアセットベース	24.00%	18.0%
レバレッジエクスポージャーベース	10.31%	7.10%
レバレッジ比率	5.34%	3.7%
LCR (24年度1Q平均)	129.9%	100%

*1 資本保全バッファ-2.5%+G-SIBsバッファ-1.0%。カウンターシクリカルバッファ (CCyB) は勘案せず

事業部門別実績①

Plan for
Fulfilled Growth

■ リテール

- 資産運用ビジネス・決済ファイナンスビジネスが引き続き好調で、業務粗利益・業務純益ともに増加
- 経費は決済ビジネスの業容拡大に伴い増加も、経費率は改善

(億円)	24年度1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	3,390	+304
預貸金収益 ^{*2}	314	+9
資産運用ビジネス	823	+113
決済ビジネス	1,425	+107
コンシューマーファイナンス	750	+47
経費	▲ 2,811	▲ 211
(経費率)	82.9%	△1.3%
業務純益	583	+78

	23年度	24年度 1Q	中計目標
AM・外貨残高 (兆円)	17.2	18.3	18
コンシューマーファイナンス残高 (兆円)	2.6	2.7	3
NISA口座数 (万件) ^{*3}	177	186	510 ^{*4}

Olive獲得件数 5年1,200万件目標 24/7 : 300万件突破

■ ホールセール

- 預貸金利回り差の改善や残高増加による預貸金収益の増加に加え、ストラクチャードファイナンスを中心に手数料収益も増加
- 証券ビジネスも好調で、業務粗利益・業務純益ともに増益

(億円)	24年度1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	2,041	+269
預貸金収益	952	+81
外為・為替手数料	344	+8
SMBC シンジケーション	96	+12
ストラクチャードファイナンス	104	+71
不動産ファイナンス	36	+1
証券	173	+65
経費	▲ 824	▲ 75
(経費率)	40.4%	△1.9%
業務純益	1,514	+235

	23年度	24年度 1Q	中計目標
スタートアップ向け投融資 (累計・億円)	792	979	1,350

*1 内部管理ベース（為替影響等調整後） *2 除くコンシューマーファイナンス
*3 SMBC・SMBC日興・SBI証券仲介における口座数 *4 2027年12月時点

事業部門別実績②

Plan for
Fulfilled Growth

■ グローバル

- 業務粗利益は増収も、インフレ等による経費増で経費率は悪化
- 航空機リースビジネスの好調やVPBank・RCBCの持適化により、持分法投資損益が増加し、業務純益は増益を確保

(億円)	24年度1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	3,532	+163
預貸金収益	1,764	+94
ローン関連手数料	653	+59
証券	233	+40
経費	▲ 2,345	▲ 253
(経費率)	66.4%	▲4.3%
持分法投資損益	197	+85
業務純益	1,443	+12

	23年度	24年度 1Q	中計目標
米州本部業務純益 (百万米ドル)	1,583	324	+500 ^{*2}

■ 市場

- 機動的なオペレーションによる着実なバンキング収益の積み上げによって、業務粗利益・業務純益ともに増加

(億円)	24年度1Q	前年 同期比 ^{*1}
業務粗利益	1,686	+120
SMBC	1,058	+108
SMBC日興	419	▲53
経費	▲ 499	▲ 62
(経費率)	29.6%	▲1.7%
業務純益	1,265	+56

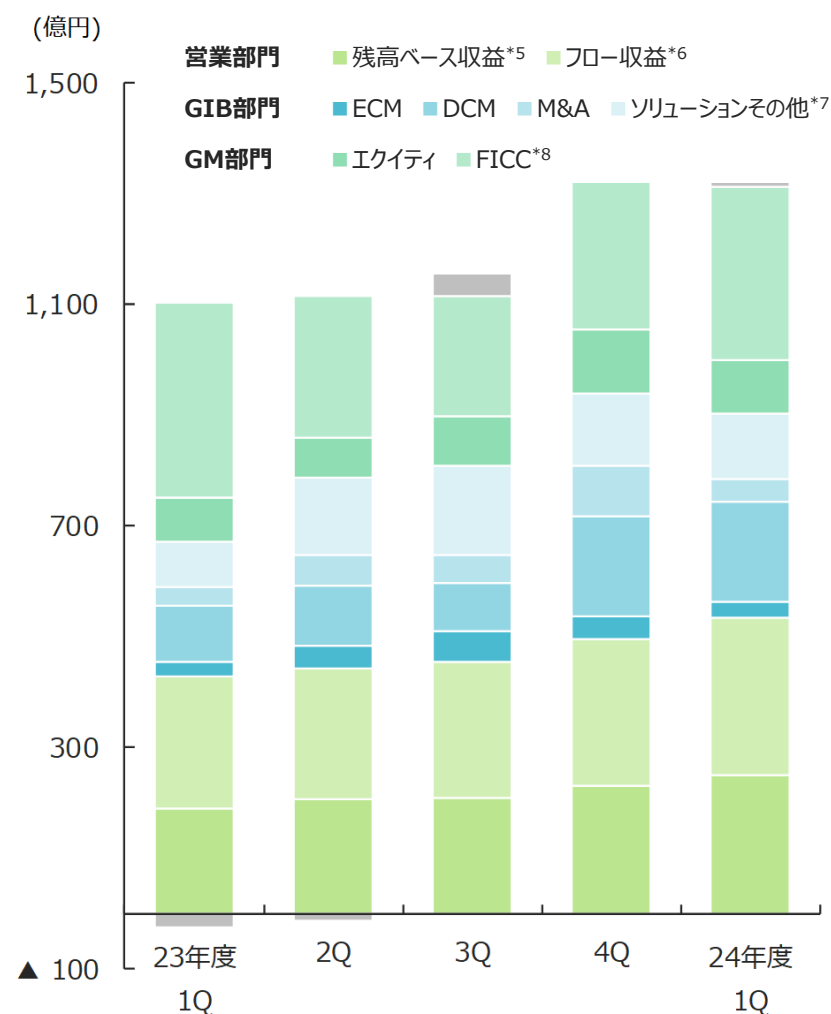
	23年度	24年度 1Q	中計目標
海外証券業務純益 (億円)	362	82	490

*1 内部管理ベース（為替影響等調整後）*2 目標は22年度対比

業績

(億円)	23年度	24年度 1Q	前年 同期比
純営業収益	4,735	1,331	+252
販売費・一般管理費	▲4,019	▲1,086	▲158
営業利益	716	245	+94
うち営業部門	101	80	+62
GIB部門*2	218	54	+66
GM部門*3	455	123	▲86
経常利益	802	274	+127
当期純利益	576	201	+118
預り資産残高*4 (兆円)	82.7	82.8	

純営業収益



*1 SMBC日興アメリカおよびSMBC Capital Marketsなどの利益を含む内部管理ベース

*2 グローバル・インベストメント・バンキング部門 *3 グローバル・マーケッツ部門 *4 SMBC日興単体

*5 投資信託・保険の代行手数料、FW報酬等 *6 株式委託手数料等

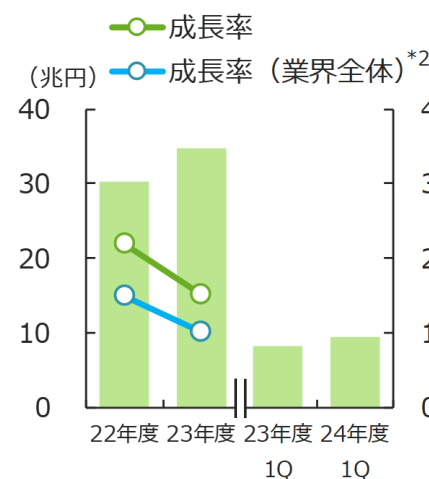
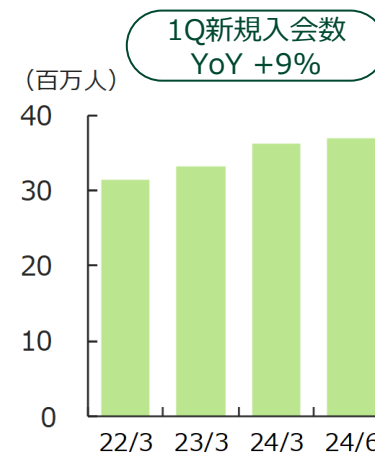
*7 バランスシートやデリバティブを活用したソリューションビジネス等 *8 Fixed Income, Currency and Commodities

業績

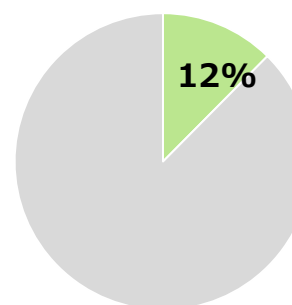
(億円)	23年度	24年度 1Q	前年 同期比
営業収益	6,329	1,656	+144
うち買物手数料	2,284	617	+87
ファイナンス	1,595	416	+27
信販	277	68	▲2
収納代行	534	137	▲0
営業費用	▲5,943	▲1,552	▲143
うち貸倒費用	▲558	▲155	▲30
利息返還費用	▲80	-	-
経常利益	408	105	▲0
親会社株主純利益	256	537 ^{*1}	+468
ファイナンス残高	11,026	11,191	

事業の状況

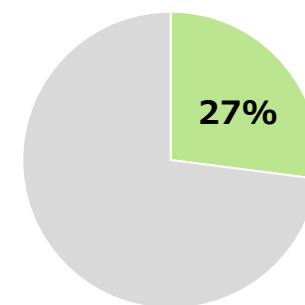
買物取扱高

会員数^{*3}マーケットシェア^{*4}

イシューング



アクワイアリング



*1 SMBCFSとの合併による抱合せ株式消滅差益+466億円を計上

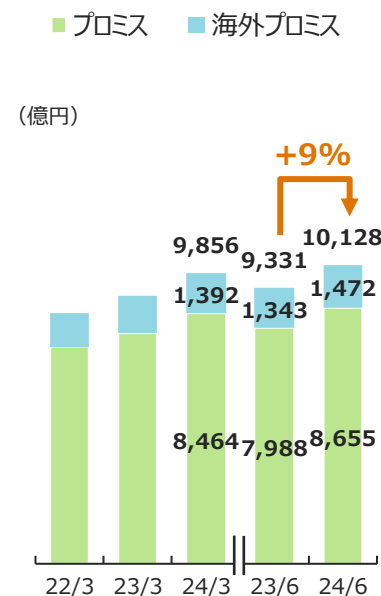
*2 日本クレジット協会「クレジットカード動態調査」ショッピング信用供与額

*3 自社発行分のみ *4 経産省「特定サービス産業動態統計調査」販売信用業務取扱高（2023年暦年、約90兆円）に占める割合

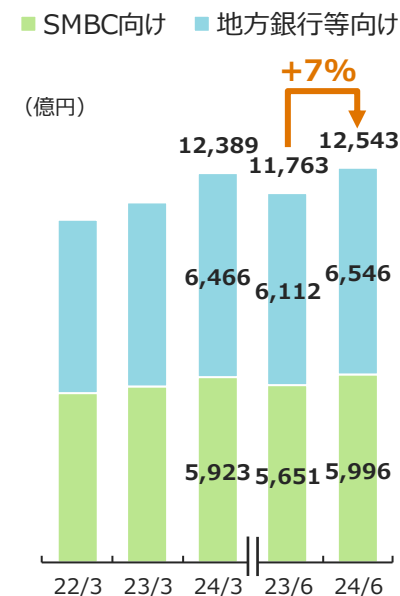
業績

(億円)	23年度	24年度 1Q	前年 同期比
営業収益	2,688	702	+53
うち営業貸付金利息	1,470	384	+28
信用保証収益	774	207	+15
営業費用	▲1,916	▲550	▲18
うち貸倒費用	▲540	▲249	△2
債務保証費用	▲160	▲13	△0
利息返還費用	▲150	-	-
営業利益	772	152	+35
経常利益	191	128	+83
うち営業外収益	10	18	+14
営業外費用	▲591	▲42	△33
親会社株主純利益	▲44	83	+55
不良債権残高 (同比率)	989 10.04%	1,038 10.24%	
利息返還損失引当金 (引当年数)	837 4.0年	797 5.0年	

営業貸付金残高



保証残高



利息返還請求件数

